

第6回 大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部会議〈議事録〉

【日 時】 平成30年3月26日（月） 9時30分～10時30分

【場 所】 さいたま市役所 7階 政策会議室

【出席者】 本 部 長：副市長（都市局担任）

副本部長：技監

本部会員：都市戦略本部長、総合政策監、財政局長、市民局長、スポーツ文化局長

経済局長（代理出席：観光国際課長）、都市局長、都市局理事

大宮区長、副教育長

以上11名

【議 事】 ①これまでの検討状況の確認

②「大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針」（修正案）について

③今後の進め方について

議事説明

議事①～③について、事務局（大宮駅東口まちづくり事務所）から次のような説明があった。

議事①：これまでの検討状況の確認

- ・ 8月の都市経営戦略会議で全体方針（原案）が承認されて以降、アーバンデザインセンター大宮[UDCO]（以下、「UDCO」という。）と協力しながら、市民や専門家への情報提供や意見聴取（PI：Public Involvement）（以下、「PI」という。）に取り組んだ。
- ・ 本日の会議をもって全体方針（案）としてとりまとめる予定である。来年度以降は、都市経営戦略会議や議会への報告、全体方針（案）のパブリックコメントを挟みながら、全体方針の策定を目指すとともに、プロジェクトチーム（以下、「PT」という。）の検討を開始する予定である。

議事②：「大宮駅東口周辺 公共施設再編／公共施設跡地活用 全体方針」（修正案）について

- ・ UDCOがPIの内容を提案書としてとりまとめ、推進本部長に提出した。この内容に基づき、全体方針（原案）に修正をかけている。

議事③：今後の進め方について

- ・ 都市経営戦略会議や議会への報告、全体方針（案）のパブリックコメントを挟みながら全体方針の策定を目指す。
- ・ 来年度に設置予定のPTの構成メンバーは、まちづくりの進捗や検討の内容に合わせて、柔軟に対応していく予定である。PTでは、全体方針の内容を踏まえながら、土地活用方針の検討やPPP手法の研究、導入する機能、事業規模・範囲等の詳細について検討を進めていく。

意見等

- 全体方針 P2 では「大宮らしさ」や「大宮らしい都市戦略」という表現があるが、現時点で「大宮らしさ」に対する明確な答えがなくても、将来的に「大宮らしさ」を創っていく過程は大切である。
- 来年度から、「資産活用課」が「資産経営課」に名称を改め、公共施設マネジメント推進に関わる事務も所掌することになったことから、この資産経営課が、全ての PT に入ることが望ましい。また、東日本との連携などのソフト面の取組を行う「経済政策課」も、全ての PT に入ることが望ましい。
- 今後、大宮区役所等の老朽化の進んだ公共施設を解体する必要があるが、民間事業者に解体から施工までを一貫して事業を公募する手法がある。この手法を導入することで、市費で解体する場合と比べて財政負担を軽減できる場合もあるので、より経済的な手法を検討していただきたい。
- 国の交付金等の諸制度を上手く活用しながら進めていただきたい。

(以上)